

Topics 神経病理学

PSP におけるタウ蓄積の メカニズムを解明

名古屋大学 勝野雅央 先生

日 程:2022 年 6 月 24 日(金)14:00-15:00

会 場:歴彩館 小ホール(第2会場)

参加費 無料(事前申込制)

形 式:ハイブリッド形式

(現地+Zoom Webinar 配信)

参加申し込みはこちら→



【参加方法】

第 63 回学術研究会に参加登録されていない方も、事前登録により Web で視聴できます。

事前に申込フォームよりご登録ください。

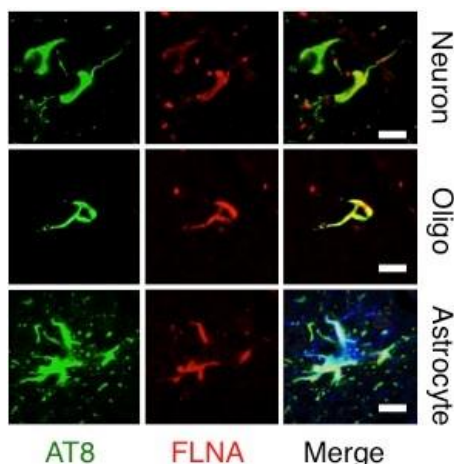
※学術研究会に既に参加申込みされている先生方につきましては事前申込不要でございます。

<https://forms.gle/kvvMiVCJXp1iwUKc9>

【本講演について】

Topics 神経病理学 「PSP におけるタウ蓄積のメカニズムを解明」

今回私たちは、進行性核上性麻痺 (PSP) の患者脳においてアクチン結合蛋白質 filamin-A がタウに共局在すること、および、filamin-A の遺伝子バリエーションが PSP の発症に寄与することを明らかにしました。さらに、マウス個体においても、filamin-A 過剰発現がアクチンとの結合を介してタウの異常凝集を誘導することを確認しました。



【出典】

Actin-binding protein filamin-A drives tau aggregation and contributes to progressive supranuclear palsy pathology.

Tsujikawa K, Hamanaka K, Riku Y, Hattori Y, Hara N, Iguchi Y, Ishigaki S, Hashizume A, Miyatake S, Mitsuhashi S, Miyazaki Y, Kataoka M, Jiayi L, Yasui K, Kuru S, Koike H, Kobayashi K, Sahara N, Ozaki N, Yoshida M, Kakita A, Saito Y, Iwasaki Y, Miyashita A, Iwatsubo T; Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative (J-ADNI), Ikeuchi T; Japanese Longitudinal Biomarker Study in PSP and CBD (JALPAC) Consortium, Miyata T, Sobue G, Matsumoto N, Sahashi K, Katsuno M.

Sci Adv. 2022 May 27;8(21):eabm5029. doi: 10.1126/sciadv.abm5029. Epub 2022 May 25.

【開催概要】

第 63 回日本神経病理学会学術研究会 初日 (6 月 24 日 (金)) 14:00-15:00 に開催いたします。

※開催形式はハイブリット形式 (現地参加または Web 視聴) です。

※神経病理学会会員以外の方、第 63 回学術研究会に参加登録をされていない方も Web で視聴できます。

※お申し込み頂いた方には、後ほどメールで参加方法に関する詳細をご案内いたします。

※日本神経病理学会学術研究会への参加希望者は下記 URL をご参照ください。

<https://www.clinkage.co.jp/jsnp63/registration.html>

企画：日本神経病理学会 学術研究会運営委員会